

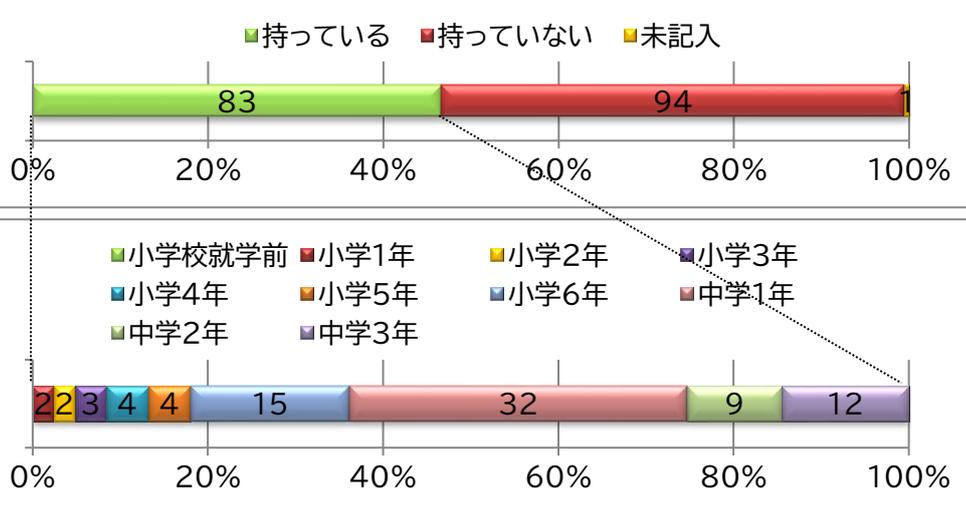
# インターネット利用に関する実態調査【中学生保護者対象】結果（抜粋）

- 1 実施時期: 令和3年11月～12月
- 2 対 象: 湯梨浜中学校保護者
- 3 調査方法: グーグルフォームまたはアンケート調査票(マークシート)
- 4 回 答 数: 178 件(内訳: グーグルフォーム 86 件 調査票 92 件)



ご協力いただき  
ありがとうございます  
ございました

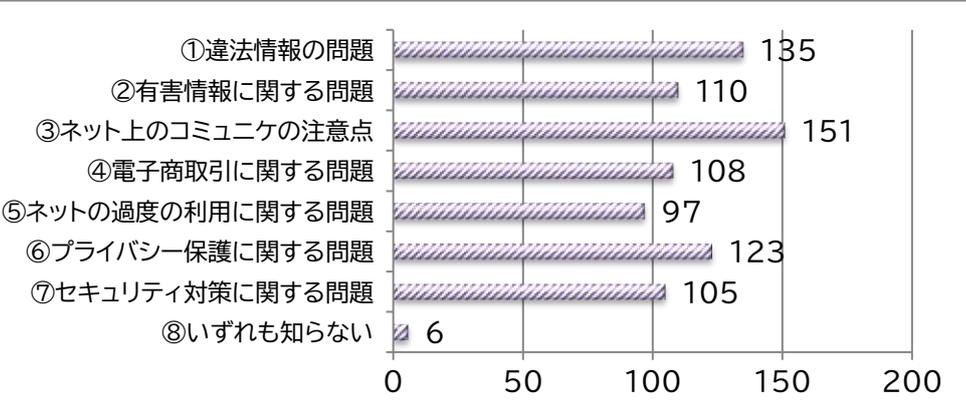
## 1. 子どものスマホ等の所有状況と所有し始めた時期



子どものスマホの所有状況は、おおよそ半々で、持っている方がやや少ないくらいでした。

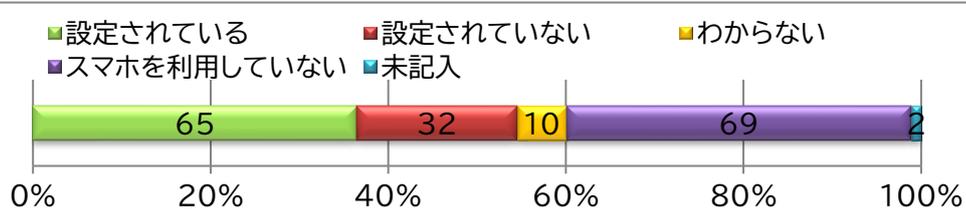
スマホを所有し始めた時期は、中学1年生が突出して多く、中学校への進学がスマホを所有する機会になっているようです。

## 2. 保護者の安全安心なインターネット利用のための注意点の認知度(複数回答)



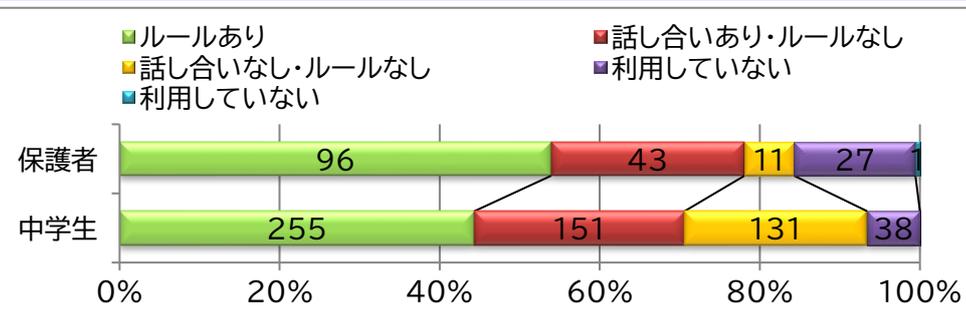
最も多い回答はネット上のコミュニケーションの注意点で、SNSトラブル等について関心度の高さが伺えます。また、いずれも知らないと回答された方は少なく、インターネット利用の注意点について意識されている状況が伺えます。

## 3. 子どものスマホ等のフィルタリングの状況



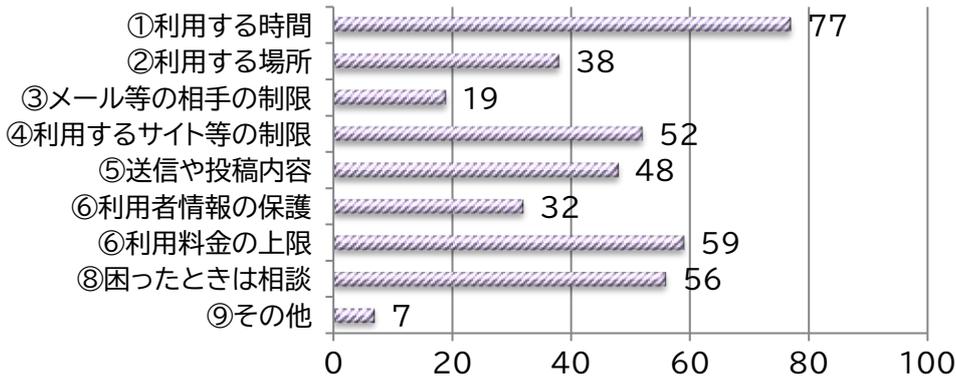
子どもがスマホ等を利用されている方のうち、約61%はフィルタリングの設定がされていると回答された反面、約30%は設定されていないとの回答でした。

## 4. インターネット利用のルールの有無 (子どもと保護者の意識比較のため中学生データを追加)



「利用していない」を除くと、ルールありの回答は保護者64%、子ども47%で、ルールなしの回答は保護者36%、子ども53%でした。ルールの有無について意識に違いがあるようです。

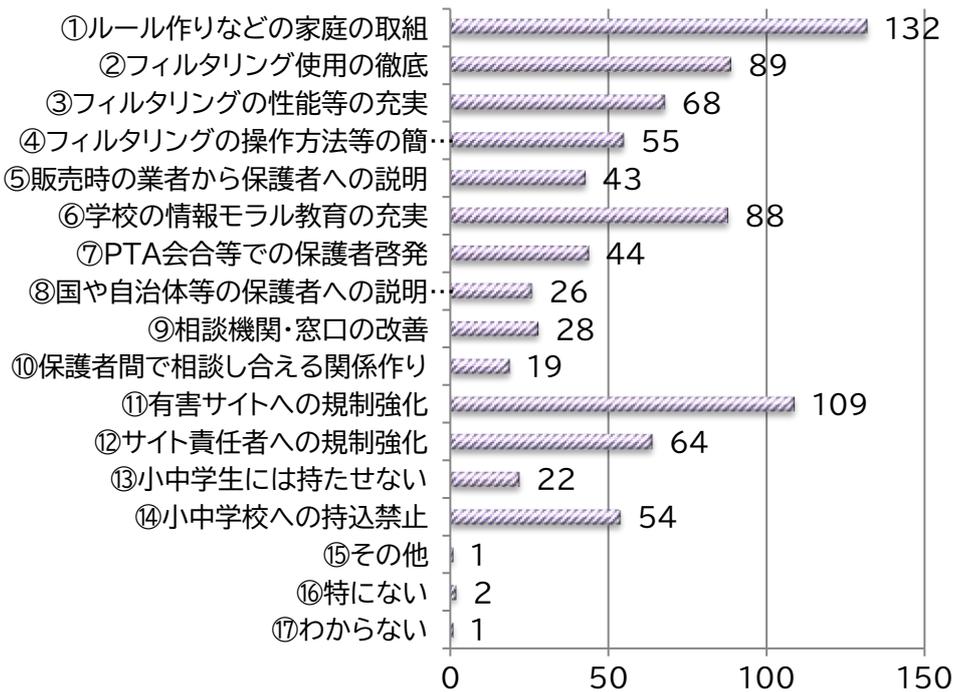
## 5. ルールの内容(複数回答)



ルールの内容については、利用する時間が最も多く、スマホ等の長時間の利用について保護者が意識していることが分かります。

その他の内容では、親が子どもの閲覧履歴が分かるようにするなど各家庭でさまざまな工夫がされているようです。

## 6. 保護者が考える子どものインターネット利用に必要な取組(複数回答)



最も回答の多い「ルール作りなど家庭の取組」、3番目に多い「フィルタリング使用の徹底」はすぐにでも取り組める内容です。

今一度、保護者と子どもでインターネット利用におけるルールについて話し合い、共通意識を持ちましょう。

もっと詳しい内容が  
知りたい方はこちら



### 【まとめ】

- 中学生の約半数はスマホを所有しており、中学進学がその契機となっているようです。
- 保護者と子どもの間にはインターネット利用のルールの認識に違いがあるようです。今一度、家族でルールについて確認しておきましょう。
- アンケート回答者の半数はフィルタリングの徹底が必要と認識していますが、実態としては子どもの所有するスマホに対するフィルタリングの設定は約6割に留まっています。
- アンケート回答者の約7割がルール作りなど家庭での取組が必要と回答がありました。ルールを決めておられない場合は、これを機に家庭で話し合ってみてはいかがでしょうか。

## SNSトラブルから子どもを守る合言葉

## 「とりのからあげ」

ともだちがきずつく事をしない  
りよう時間を決めよう  
のせない個人情報

かきんしない  
らいん(LINE)は相手のことを考えて送信  
あわない SNSで知り合った人  
ゲームソフトの年齢制限を守る

啓発キャラクター  
「からぼと」

